

# 23港湾産別春闘終結！

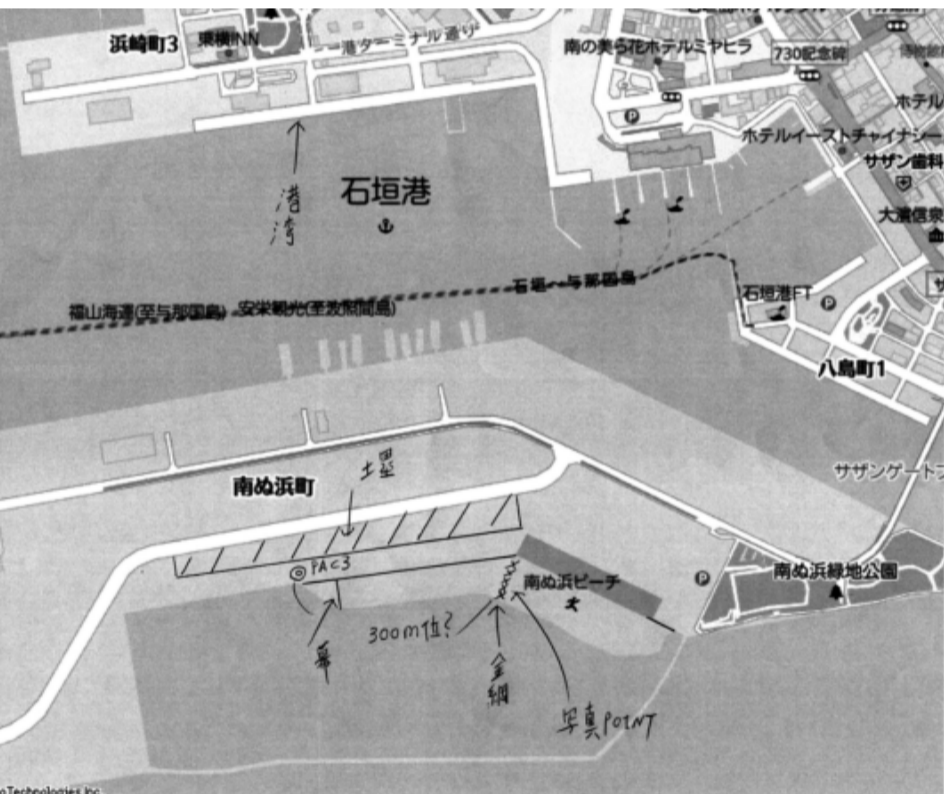
## —仮協定書にサイン—



4月26日の第5回中央団交で基本合意して以降賃上げ(労働条件の向上に資する料金改定など)「適正料金確保」の検証を行うために中断していた中央港湾団交は、協定する条件が整ったと判断して、9月6日(水)の13時25分から芝浦サービスセンター会議室(東京)で開催された。

団交において、前回で作成することを業側に表明成した「仮協定書」と「港し」、「仮協定書」「港湾労働者の命と安全を確保 労働者の命と安全を確保するための議事確認」を認めるための議事確認に署名をみ上げ、労使確認を行った。

確認後、組合側は検証の取り組み中であっても各種保「通告」については13時45分専門委員会や折衝をかきねて前進を図ってきたことに感謝する。また、「仮協定書」と「港湾労働者の命と安全を確保するた(仮協定書・議事確認は裏の議事確認)について合(面)



### 港頭地区に兵器を入れるな！

検数労連中央執行部では、毎年8月末に総括会議を企画しており、今年は石垣島へ行きました。

石垣島と言えは、港湾界隈で何かと物議を醸している『港頭地区のPAC3配備問題』について、実物を見に行ったので、紙面を借りて報告と感想を書かせていただきます。PAC3が配備されている場所ですが、我々港湾労働者の職場である石垣港から直線約700メートル沖合にあるフェリー専用のふ頭内に配備されています。フェリー専用ふ頭と市エビチの波打ち

街地は橋が繋がっており、フェリー専用ふ頭には緑地公園や人工ビーチなどが整備されていることと同様に、観光客や市民の憩いの場として活用され、上空に向けて配備される。実際には人エビチで海水浴を楽しむ家族が数組いたのを記憶しています。

PAC3は市街地からは土塁で見えないようになっているものの、人エビチの波打ち

中央にPAC3 (2基)

実際は橋が繋がっており、フェリー専用ふ頭には緑地公園や人工ビーチなどが整備されていることと同様に、観光客や市民の憩いの場として活用され、上空に向けて配備される。実際には人エビチで海水浴を楽しむ家族が数組いたのを記憶しています。

PAC3は市街地からは土塁で見えないようになっているものの、人エビチの波打ち

### フェリー確認書締結

全国港湾は、8月31日、新橋の港連協会3階会議室において日港協の立ち合いの下、フェリー船社との協議を行った。その結果、2022年度から向こう3年間の拠出金を口頭で確認し、後日、文書で締結することになった。

協議の冒頭、真島委員長は「3年に一度のフェリー協議を行っているが、今後とも港湾とフェリー船社と共に歩んでいきたい。」と挨拶を行った。その後、双方の自己紹介を行い、日本長距離フェリー協会の尾本会長より「今回は、コロナ禍のなか、書面での取り交わしを行ったので私にとって対面では初めてのことで3年の期限を迎えるの協議

しているのが確認できました。おそろしくビーチで泳いでから沖に泳いで出ればもっとはっきり見えるのかと思

石垣島は、商業港として石垣港や隣接する離島ターミナルを中心に繁華街などの市街地が形成されていることから、生活や安全への影響を不安視することは容易に想像できます。また、フェリーターミナルに隣接されている場所に配備されているという点から見て、『港湾を兵站基地にさせない』取り組みを全国的に展開させていく必要性から寄稿させていただきました。

23春闘では日港協から『平和を希求する思いは同じ』として議事録確認を交


をい、全国港湾からの要求書に回答したい。」とあった。フェリー船社は、2022年度から向こう3年間、これまでと同様(無人トラック輸送台数に58・3円を乗する)に拠出し、無人車の積み卸し作業に関しては、1975年確認書にもとづき、引き続き努力すると回答した。

組合側からは、対象船社及び航路について、2022年2月に川崎近海汽船(株)の八戸〜室蘭航路の休止と2021年7月から東京九州フェリー(株)が新門司〜横須賀航路の就航による確認を口頭で行った。確認文書については、2023年3月31日付で締結することとした。

わしていることや、全国港湾常任中執を中心に第一・第三木曜日に新橋駅前広場で宣伝行動を行い『港湾を兵站基地にするな』と広く市民に呼び掛けています。

いま石垣島で起こっていることは対岸の火事ではなく、自分たちの職場でも起こりうる事として捉えてもらえたらと思います。

もし、自分たちの職場で、ある各港湾にPAC3が配備されたらという思いと、『港湾を兵站基地にさせない』取り組みを全国的に展開させたものがある▼現行の制度では退職金にかかる税金は、(収入-退職所得控除額)×1/2に税率を掛けられた額であるが、この退職所得控除額は、勤続20年までは勤続年数×40万円、21年以降は70万円が毎年加わる。長く勤めるほど税金計算が有利になる仕組みであるが、岸田政権はこの仕組みが転換を妨げているとして、課税を強めようとしている。成長産業に労働力を移すことで経済を活性化させようという考えなのだろうが、中高年サラリーマンの多くは今の仕事を捨てて、新しい分野に転職しようとは考えない。結局は、税金が高くなるだけという見方ができる▼政府は防衛予算を前中期防衛力整備計画の1.6倍、5年で43兆円にも増やし、米国製兵器の爆買いを進めている。戦争推進の支出を増やし続ける一方、働く者の老後の蓄えをむしり取る。こんな政治はそろそろ変えるべきではないだろうか。



岸田政権が  
 今度は退職金  
 にかかる税金  
 を増やそうと  
 している。岸  
 田首文雄首相  
 肝いりの『新  
 しい資本主義実現会議』が  
 示した『新しい資本主義の  
 グランドデザイン』及び実行  
 計画2023改定版』である。  
 この制度は、現行の退職  
 所得課税制度について  
 『労働移動の円滑化を阻害  
 している』として見直しを  
 掲げたものである▼現行の  
 制度では退職金にかかる税金  
 は、(収入-退職所得  
 控除額)×1/2に税率  
 を掛けられた額であるが、この  
 退職所得控除額は、勤続20  
 年までは勤続年数×40万  
 円、21年以降は70万円が毎  
 年加わる。長く勤めるほど  
 税金計算が有利になる仕組  
 みであるが、岸田政権はこの  
 仕組みが転換を妨げている  
 として、課税を強めよう  
 としている。成長産業に労働  
 力を移すことで経済を活性化  
 させようという考えなの  
 だろうが、中高年サラリー  
 マンの多くは今の仕事を  
 捨てて、新しい分野に転職  
 しようとは考えない。結局  
 は、税金が高くなるだけと  
 いう見方ができる▼政府は  
 防衛予算を前中期防衛力  
 整備計画の1.6倍、5年  
 で43兆円にも増やし、米  
 国製兵器の爆買いを進めて  
 いる。戦争推進の支出を増  
 やし続ける一方、働く者の  
 老後の蓄えをむしり取る。  
 こんな政治はそろそろ変  
 えるべきではないだろうか。